

須崎小学校 防災教育（地震・津波）全体計画

学校教育目標 ・仲間とともに課題を解決する子どもを育てる。 ・進んで学習に取り組み、確かな学力を身につける子どもを育てる。					
児童 南海地震を知っている児童は多いが、津波が起こることを知っている児童は32%と少ない。学校外での地震時、避難する場所を知っている児童は67%、一人で避難できる児童は59%であり、家族と連絡のとり方を決めている児童は17%と少ない。	防災教育の目標 ・災害時に自分で判断し、最善の行動がとれる子どもたちの育成 ・助け合いやボランティア精神など、「共生」の心をはぐくみ、人間としての在り方生き方を考える。			家庭 PTA を中心に防災に対する意識と対策への要望は高い。	地域 防災に対する意識はあるが、防災訓練への参加など具体的な取り組みへの参加率は十分とはいえない。
	防災教育におけるめざす児童像 ・自分の命は自分で守れる子ども ・災害発生時には集団や地域の安全に役立つことができる子ども ・防災についての基礎基本的事項を理解できる子ども				
	推進の視点				
【A】防災リテラシーを身につける ・災害発生時の身を守る方法 ・災害発生時に自分で考え、適切に判断・行動できる実践力 ・災害を乗り越えるために他者と助けあう共生力 【生活科・社会・保健・特別活動・総合的な学習の時間・学校行事】		【B】人間としての生き方に迫る ・命を尊重する心の育成 ・他者を思いやる心の育成 ・ボランティア活動に積極的に参加しようとする心の育成 【生活科・国語・社会・保健・道徳・特別活動・総合的な学習の時間】		【C】科学的理解を深める ・自然災害の種類と発生メカニズムについての理解 ・地域の災害の歴史と対策についての理解 ・今後の防災体制の理解 【生活科・社会・理科・総合的な学習の時間・学校行事】	
防災教育の重点					
低学年 ・災害が発生したときに、災害に応じて、自ら適切な行動ができるようにする。		中学年 ・災害のときに起こる様々な危険について知り、自ら適切な行動ができるようにする。		高学年 ・災害が発生したときに、自ら適切な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りができるようにする。	
各学年の目標					
第1学年 ・通学路に関心をもち、災害時の避難の仕方を知り、安全な登下校ができるようにする。 ・地震や津波の怖さを知り、適切な避難の仕方を身につける。 ・災害時の対応について家族と話し合い、防災意識を高める。	第2学年 ・通学路に関心をもち、災害時の避難の仕方を知り、安全な登下校ができるようにする。 ・地震や津波による危険について理解し、適切な避難の仕方を身につける。 ・災害時の対応について家族と話し合い、防災意識を高める。	第3学年 ・地域の地形等を理解し、災害時の避難の仕方を知り、安全な行動ができるようにする。 ・地震や津波が起こるわけを知り、それに伴う危険について考え、適切な避難の仕方を身につける。 ・防災対策の準備について考え、防災意識を高める。	第4学年 ・地域社会における災害から命を守る工夫について知り、安全な行動の仕方ができるようにする。 ・南海地震について知り、現在の避難の仕方に生かす。 ・南海地震の危険性について考えることで、防災意識を高める。	第5学年 ・地震の震度やマグニチュード、津波の速度や破壊力等について知り、安全な行動の仕方を学ぶ。 ・地震速報や津波予報システムを知り、年少者を助けながら避難する仕方を身につける。 ・過去の南海地震の体験談を聞くことで、防災意識を高める。	第6学年 ・地震の震度やマグニチュード、津波の速度や破壊力等についてより詳しく調べ、安全な行動の仕方の理解を深める。 ・地震速報や津波予報システムを理解し、年少者を助けながら避難する仕方を身につける。 ・過去の南海地震の体験談や工夫を調べ、防災意識を高める。